

はるにれの里 家族会連絡協議会 提言の実施状況

◆「2017 はるにれの里家族会連絡協議会アンケート」の提言関連の、2018年7月7日現在での法人から情報での更新 2018.11.10

項番	家族会提言	2018年7月7日の法人計画内容	その後の進捗状況
1	<p>就労支援で「フォローアップサービス」の認識を上げて適切にサービスへ導くこと</p> <p>制度化へ向けての運動などへの支援をお願いしたい</p>	<p>「あるば」の活動として、「総合就労支援センターCAP」の本格稼働を計画。制度化された「就労定着支援事業」を「就労移行支援事業」に加えて、今まで独自事業として展開していたフォローアップ事業を取込む。関係機関や利用者の意見を聞き、改善修正を加えてサービス向上を目指す。</p>	<p>【あるば】</p> <p>地域就労を支える会の研修会にて、新規制度化された「定着支援事業」の勉強会を実施。</p> <p>平成30年度実施のあるば事業説明会にて、札幌・石狩それぞれ1回、合計2回定着支援事業の説明解説、それに伴う独自フォローアップ事業との違い、今後のフォローアップ事業との並行運用を説明</p> <p>「定着支援事業」について、H30年4月に事業申請。該当となる利用者への手紙、個別面談や電話による説明および利用契約を行い、7月よりサービス開始。結果就労者10人の方と契約。</p> <p>他の就労中の方(約60人)は定着支援事業の期間対象外であり、それらの方とは独自フォローアップ事業を継続提供させて頂く</p>
2	<p>就労事業における作業内容・時間・賃金などの情報を家族・本人と共有すること</p>	<p>「きのこ村」では支援職員へのサポートが不十分である問題で将来への問題意識あり。</p> <p>「とれたってマルシェ」では雇用形態や賃金設定の抜本的な見直しが必要。</p> <p>「ポロレ」の工賃では、利用者の工賃見直しを職務規定に基づいて進める。</p>	<p>【ふれあいきのこ村】</p> <p>農業を兼業し、自分たちの栽培ペースではなく小売大手との直接取引を維持していくという事は、相応の生産管理や営業、そしビジネスとしての事務作業をこなしていかななくてはなりません。選別・収穫・配達などの作業専属パートを追加配置することで、単に作業としての負担は改善されつつありますが、その配置により支援職の比率が下がっている為、少ない支援職に利用定員相応の支援業務が集中しているのが現状です。増産計画の見送り、業務効率化に繋がる備品の購入など、生産体制の維持と職員が働き続けられる労働環境改善に取り組んでいるところです。</p> <p>ふれあいきのこ村の作業工賃については、独自の作業適応評価に基づいて時給額が決定し、作業に従事した時間(一日実働6時間)で支給されています。例年、5月の事業説明会の場で、作業工賃(賞与を含む)、就労事業会計の収支説明および各作業内容の説明をプレゼンおよび動画を使用しておこなっていますが、参加が難しい保護者も増え、説明の機会が不十分であることから、紙面による分かりやすい報告・説明も必要と考えています。</p> <p>【とれたってマルシェ】</p> <p>就労継続A型事業とれたってマルシェでは非雇用型の利用者を1名だが雇用型に移行している。</p> <p>半年に一度、作業評価を利用者とおこない工賃の見直しをおこなってきた。また、評価がA型に適さない利用者については、きのこ村のB型からの施設外就労に移行してきた。</p> <p>【ポロレ】</p> <p>ブルーランジェリーこむぎっこがワークセンターポロレのB型と一体となったことで、ブルーランジェリーこむぎっこの工賃については新年度に向けて、今年度の売上に応じた工賃設定を調整中。ポロレについては改めて、個々の再評価をしている状況である。</p>
3	<p>生活介護の支援内容の見直しと、家族への十分な説明をすること</p>	<p>「ほしのみ」・「ばいえ」で個別支援計画の策定方法や説明について改善の計画あり。</p> <p>「やすらぎ」では保護者説明会を年1回から2回の開催とする。</p> <p>「あしり」も含めて、家族会との関係や個別支援計画の説明・同意・意見交換のやり方も改善する計画。</p> <p>「さりゅう」では本人ニーズかどうか検証し個別支援計画に反映して家族と共有する。</p> <p>「ポロレ」でも個別支援計画の改善を計画。</p>	<p>ここ数年利用者の方の高齢化や機能低下への対応が課題となっているが、当然、ご家族の高齢化も進み今後の法人との協働の在り方についても議論していかなければならない。また、支援者サイドとご家族のコミュニケーションの不足はアンケート調査でも指摘されていた事項であり、今年度は定期的に家族会との意見交換会をおこなうなどしている。また、個別支援計画作成にあたっては本人及びご家族の意向を聞きとり、ご本人をどのように支え幸せ追求していくのかを相互にしっかりと話し合うことが必要である。そ</p>

			<p>の為には支援者は5年後10年後を見通したシナリオを描くことが重要である。大切な支援計画の懇談の持ち方については各事業所の担当者に要望や希望、こうしたらもっと良くなるといった助言をご家族からしていただくとうれしい。</p> <p>【ほしのみ・ばいえ】</p> <p>事業所で事前に実施される支援計画策定会議を充実させることに力を入れてきた。支援の実施状況の確認や振り返り、今後の支援内容についてチーム全体で情報を共有し協議するなど、チームとして取り組む意識を高めながら、計画の策定を進めてきた。また、利用者の得意なことや好きなことに目を向けて、プラスの視点で支援を考察していけるように支援会議などで各職員に働きかけを継続しており、計画内容にも少しずつ反映されてきている。ご家族への説明については、面談の前に支援計画の内容を配布するように心掛けた。事前にお示しすることで面談当日にご家族からのご意見やニーズを確認しやすくなり、意向に合わせて内容の修正や追加などもスムーズに進めることができるようになってきている。しかし、事前配布がされていないケースもあったため、今後はより丁寧に実施していきたい。また、ご要望によりご家族も参加する支援会議を開催するなど、可能な限りニーズを反映した支援計画を作成できるように努めている。</p> <p>【さりゅう】</p> <p>アンケートの結果に、「職員が（本人のことを）理解してくれているか心配」等の意見が寄せられていた。個別支援計画による支援が本当に本人ニーズなのか、その根拠を示すために「ニーズ・課題一覧表」を個別支援計画に反映した。推定されるニーズ「本人の声」とその根拠となる日常の様子やストレスを記載できるようにしたものであり、支援背景をより丁寧に説明することができるようになった。</p> <p>【ポロレ】将来に向けて、作業のみならず気持ちの切り替えのための余暇活動や体力維持のための運動メニューなどを取り入れ、後期の個別計画では一部ではあるが、余暇や運動の活動を明記したものを提示させていただき、実際日中活動の中で取り組みを始めているところである。</p>
4	在宅生活者のグループホームなどへの移行の展開計画をすること	<p>「ほしのみ」・「ばいえ」が重点目標で「在宅支援の強化とGHへの移行」としている。</p> <p>「あらいぶ」では「在宅利用者・家庭支援～SOS、困り感をキャッチし、つなげる意識の強化」を重点目標としている。</p>	<p>現状はご存じの通り人材の確保がままならいこともあり新規のグループホームの開設が足踏みの状態にある。今後の見通しとしては、他法人やNPO法人、株式会社などがグループホーム事業への展開を進めており、これら事業所を利用する在宅利用者の方には、法人として個別的な支援の方法について専門的な見地に立った技術提供を図るためのコンサル機能をもたせていく考えである。</p> <p>【あらいぶ】</p> <p>家庭での困難な状況については、情報を積極的にキャッチできるよう意識を強め、課題が深刻化、複雑化する前に、居宅サービスやショートステイの活用などにつなげられるよう連携を図っている。</p>
5	グループホームの体制について再考と家族への十分な説明をすること	<p>GH職員の圧倒的な人員不足は極めて深刻。そもそも現存GHを支える事自体も難しくなっている。少しでも職員が定着できるようここ数年全力で取り組んできた。まずは夜勤回数を減らして労働環境も改善をめざした。ご理解をお願いしたい。アルバイトの導入へのご懸念もあると思うが、ベテラン職員により十分なバックアップ体制（夜間、遅番、早番、緊急シフト）を敷いている、また入社後の新人教育体制にも育成プログラムがあるが、今後も専門職を育てる取り組みは進めていきたい。</p>	<p>人材不足については福祉の分野だけではなく日本の社会全体に関わる課題である。人材確保も重要だが現任の職員の方たちには長くこの分野で働き続けてほしい。そういう意味では離職防止（予防）の取り組みに力をいれていかなければならないと考えている。家族会の皆様にも日常的に若い貴重な人材を励まし支えていただくことをこれまで以上お願いしたい。</p>

6	高齢化を迎えても、本人や家族の面会など叶う支援の方法などを検討願いたい	「やすらぎ」は保護者説明会を高年齢家族に配慮して札幌市内で開催する計画。	<p>【やすらぎ】</p> <p>個別支援計画の説明会を交通手段の良い札幌市内の場所で開催</p> <p>ご本人との面会希望があった場合は、ご家族が面会しやすい場所まで職員が引率していく</p> <p>ご家族の身体的な影響により面会が叶わない場合はご本人の動画や写真を定期的にお渡しする</p>
7	はまなす園老朽化にともなう対策で、ご本人の意向の確認を重視すること	「はまなす園将来構想委員会」の提案を計画にしていく。この構想は厚田エリア全体の計画の一つでもあり、高齢となる利用者の暮らしの場をより医療の近い場所に移行することや、委託業務員の高齢化などによる人材不足なども視野に入れて検討していく。また重点目標には「地域移行の推進と地域との協力体制」としている。	厚田エリアの関係職員で集まり、業務委託職員の人材確保難に加え、建物の老朽化について今後、建物を修繕しながら現状の場所で暮らしていくのか、建物の老朽化・利用者の高齢化も進んでいるため、より医療機関に近く、人材の集まりやすい場所へ移転・建て替えをしていくのかの議論を現在もおこなっている。移転・建て替えの場合、どのような場所にはまなす園の建設地の可能性があるのかを不動産会社を通して探している。日中支援型グループホーム定員20名+短期入所併設の新しいグループホームの制度もできており、制度の動向も見ながら、5年を目途に話し合いを進めていきたい。
8	職員の異動について、不安がなくなる対策を検討すること	なし	<p>昨年のアンケートでは、特にグループホーム職員の異動について声があった。夜勤の専任業務（夜間の一人仕事）を長期間させることは職員の定着からも難しいこと。異動は職員の育成の上でも必要であること。入所や生活介護などはチーム支援として複数職員による対応をしている。職員交替による引継ぎについては、新旧の職員同士で連絡を取り合い支援についての情報交換し、日中の事業所の応援も得ながら、法人内でのネットワーク（複数のスタッフ間で情報を共有するためメール）を多用して情報の共有をしている。平成30年4月からは増員を図り、1ホーム2名体制を基本に進めている。</p>
9	本人達の高齢化に対応するための体力育成を全事業所として実施していくこと	<p>法人の事業計画の項番2(2)に介護予防の取組みがある。</p> <p>「やすらぎ」・「あしり」では投薬などで30歳代でも虚弱や老衰が進み、嚥下機能の低下による事故も発生しているので、医療連携委員会などと協力して対策する計画。</p> <p>「レラ望来」は高齢化に向けた設備・活動面の見直しを重点目標に。</p> <p>「あらいぶ」の重点目標に「生活習慣病の予防に重点を置いた健康管理～情報の共有と異変の気付き」がある。「えみな」ではトレーニング室を設置した。</p>	<p>【ゆい】</p> <p>施設長室横のスペースを利用し、ウォーキングマシンやロデオマシン、バイブレーションマシンを設置し、入所や通所の方に時間差で利用いただいている。また、職員の人数にもよるが、雨天時以外にゆい周辺の散歩をおこなっている。</p> <p>その他、2階体育館のエクササイズマシンの利用や、トランポリンでの活動もおこなっている。</p> <p>清掃（床拭き、下駄箱掃除など）で全身運動を取り入れている方もいる。</p> <p>【あしり】</p> <p>あしり関連のグループホームを利用する40台男性は、週に2回程度、身体機能の衰えを改善する目的でリハビリ施設に通院している。このような事例は今後増えていくのではないかと考えられる。また、介護予防という観点でも老化の早い利用者さんにとっては重要なプログラムになる。</p> <p>【あらいぶ】</p> <p>健康診断の結果に基づき、食事メニューの改善や各利用者の年齢や身体機能に応じた運動メニューを実施するとともに、定期的に嘱託医への相談をおこない指導を受けている。平成30年10月より管理栄養士をグループホーム事業に配置。利用者の栄養管理や生活習慣病予防の取り組みを医療職との協働で段階的に進めている。</p> <p>【やすらぎ】</p> <p>やすらぎのグループホームでは、生活の日課の中に運動を取り入れていくようにしている。</p> <p>世話人不足により、食事の提供がコンビニ弁当になることが多くなってきており、成人病予防の対策として</p>

			<p>地域活動センター・彩に、栄養士に栄養管理をしていただいた、手作りで温かい食事を提供していくため、厨房を整備し、8月より順次、グループホームへ配食していく。</p> <p>今後、窒息・嚥下機能低下のリスクのある方が増えていくため、医療連携委員会に協力していただき、きざみ食やとろみ食の導入をその都度、おこなっていく。レラもうらいでは、介護予防の観点から引き続き、屋外では散歩や体を動かしてのレクリエーション活動、屋内では徐々に運動器具と整備し活用の機会と時間を増やしている。介護予防の一方、どうしても将来的に介護が必要になる利用者のために車椅子対応の介護用トイレを7月に追加整備・完成している。</p>
--	--	--	---